松阪社協と一緒に取り組む

地域福祉教育ガイド



小・中学校編









ボランティアさんと、地域の方と、社協スタッフと・・・
みんなで一緒に授業を作りませんか？

先生のお声をお聞かせください！

福祉の授業を したいけど、
どこに頼めばいいか分からない。

人権教育で参考になる
授業内容ないかなぁ。



土曜授業や「総合的な学習の時間」
に活用したい！

忙しくて相談にいけない。
学校に来て欲しい！

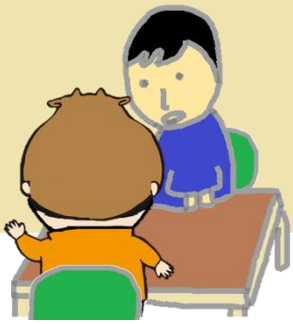
社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会



松阪社協の“地域福祉教育”を、ご紹介します！

◆松阪市社会福祉協議会について

松阪社協は、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進することを目的として、地域の方のお悩み等に寄り添う気持ちを大切に、障がい者支援、高齢者支援、市民活動やボランティア団体の支援、地域福祉活動等、幅広い社会福祉事業を展開しています。



各種相談



赤い羽根共同募金事業



みんなの居場所づく事業

◆松阪社協の取り組む地域福祉教育

松阪社協は、これまでボランティア団体や地域の方、学校の先生と一緒に福祉教育を取組んできました。そこで、これまで取り組んできた内容を手に取って見ていただき、一歩前に進んだ福祉教育を共に実施することができたらと思い、この冊子を作成しました。

「地域と共に育む福祉教育」それを「地域福祉教育」と呼んでいます。

地域福祉教育には、共に体験し、学びを共有することによって、人そして地域を想うあたたかな心、新しい気づきやつながりが生まれることへの期待と希望が込められています。 ぜひ、お役立て下さい！

※本パンフレットの内容は、平成26年度に松阪市内全小中学校様対象のアンケート調査等の結果を一部参考にし、作成させていただいております。

※本パンフレットは、一部赤い羽根共同募金を使って作成をしております。



ホップ

地域福祉教育のステップ



① プログラム内容の企画

ニーズに沿った企画から
実施までのトータルな相談
※調整の上、お伺いさせていただきます。

本プログラムでは、実施内容をわかりやすく、3つのステップに分けています。
「導入」をステップ1、「実施」をステップ2、「ふりかえり」をステップ3、そして、4つ目のステップとして、実際に地域活動へ参加をする等 発展的な展開が考えられます。

ステップ1
事前学習（導入）

ステップ2
授業の実施



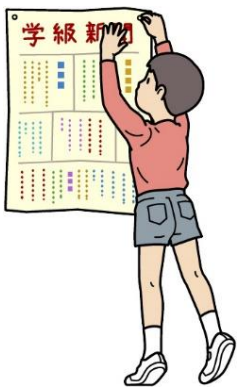
ステップ3
事後学習（ふりかえり）

子どもたちへの学びの展開
気づきや学びを行動に…

② ニーズに沿った授業の実施

例えば・・・

・社協職員の派遣
　教育プログラムの実施 等
・ボランティアグループの調整
・地域の先輩　紹介 等



③ 次の展開へ

例：発表や活動の場の提案等



松阪社協
地域福祉教育プログラム
の紹介



松阪社協地域福祉教育プログラム①
「福祉」に関する体験をしてみよう！



【目標】それぞれの立場を体験的に理解し、
関わりのヒントや他者理解等へとつなげる。

3つのステップ	内容
ステップ1	器具や道具の扱い方と注意事項など、『体験』にまつわる話をします。
ステップ2	みんなと一緒にコースをまわってみます。感じたこと、気づいたことなどを大切にしてみよう！
ステップ3	体験をした後の気づきや感想をみんなで共有します。

◆所要時間　45分

◆対象学年　全学年

～ 体験にはさまざまな種類のプログムがあります～



車いす体験

車いす、アイマスク、高齢者疑似体験セット等は、
無料で貸出も行っています！



アイマスク体験



高齢者疑似体験





これまで市民活動団体さんと一緒に
実施をしてきました！

松阪社協地域福祉教育プログラム②

「福祉」に関する体験をしてみよう！



NEW

【目標】ボッチャなどの障がい者スポーツやレクリエーション体験を通して、障がい者への理解を深める。

3つのステップ	内容
ステップ1	道具の扱い方、ルールや注意事項など、『障がい者スポーツ』『レクリエーション』にまつわる話をします。
ステップ2	みんなで一緒にスポーツやレクリエーションを体験します。感じたこと、気づいたことなどを大切にしてみよう！
ステップ3	体験をした後の気づきや感想をみんなで共有します。

◆所要時間　45分

◆対象学年　全学年

◆内容　ボッチャ・大型バルーン　※道具の数に限りがあります。ご相談ください。







各障がい者団体さんや障がい者施設の皆さんと一緒に実施します。

松阪社協地域福祉教育プログラム③
防災・減災について知ろう！



【 目標 】防災・減災について体験的に理解し、日頃の備えにつなげる。

3つのステップ	内容	所要時間
ステップ1	地震による影響や被災についての説明、体験時の注意事項等を説明します。	10分
ステップ2	ガラスの飛散に見立てた卵の殻の上を順番に裸足で歩きます。	1回3分程度 ※1回で歩くことの出来る最大人数約10人
ステップ3	みんなで一緒にふりかえりをして、日頃の備えについて学びます。	5分～10分

◆所要時間　参加人数により調整をさせていただきます。

◆対象学年　全学年





新聞紙でスリッパを作る体験も
併せて行いました！







卵の殻を一緒に
集めてくれると、
嬉しいな！



松阪社協地域福祉教育プログラム④
防災・減災について知ろう！



【目標】防災･減災について体験的に理解し、日頃の備えにつなげる。

○防災カルタ ～やなせたかしの『あそぼうさいカルタ』を使って～

◆所要時間　１回　１５分～２０分

◆対象学年　低学年向け







○防災クイズ ～チームに分かれて○×合戦～

◆所要時間　問題数により調整をさせていただきます。

◆対象学年　高学年向け









松阪社協では、さまざまな
防災・減災用具の貸出を、
無料で行っています！



松阪社協地域福祉教育プログラム⑤

赤い羽根共同募金を知ろう！



【目標】赤い羽根共同募金のしくみを学び、
募金が自分のまちで活用されていることを知る。

3つのステップ	内容
ステップ1	「赤い羽根共同募金」について、その成り立ちや「赤い羽根」の意味、募金期間などの説明を、わかりやすくクイズ方式で行います。
ステップ2	「じぶんのまちを良くするしくみ」について、その仕組みや募金が地元の地域でどのように活用されているかを学びます。
ステップ3	募金協力時に配布する「ありがとうメッセージ」の制作を通して、募金活動へかかわりを持つ機会とします。

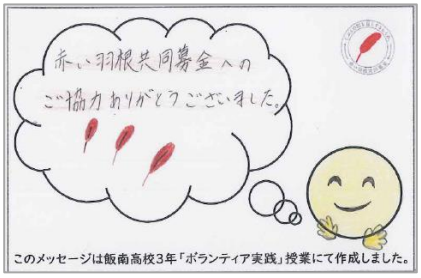
◆所要時間　45分～

◆対象学年　高学年



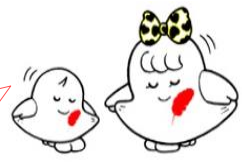








飯南高校の生徒さんに制作してもらった、ありがとうメッセージです♪



松阪社協地域福祉教育プログラム⑥

福祉ってなぁに？福祉の仕事について知ろう！



【目標】福祉の仕事について多角的に理解をし、
将来を考えるひとつのヒントにする。

3つのステップ	内容
ステップ1	「福祉」ってなぁに？福祉の仕事ってどんな仕事？ イメージを共有します。
ステップ2	社協の役割や、福祉の仕事について、職員のエピソードとともに紹介します。 自分の住む地域では、どんな福祉活動が行われているかを知ろう！
ステップ3	みんなの将来について、そして今から出来る『ふ・く・し』について、一緒に考え、共有しよう！

◆所要時間　50分

◆対象学年　全学年









福祉の仕事って、どんな仕事？
みんなの疑問に答えます！



松阪社協地域福祉教育プログラム⑦

古切手を集めて途上国支援をしよう！



【目標】身近にできる取り組みが、
遠い国の支援につながっていることを学ぶ。

3つのステップ	内容
ステップ1	回収した古切手を整理する方法について説明し、実際に回収できるように古切手の手入れをします。
ステップ2	回収した古切手は、どのように役立てられるかについて話をします。
ステップ3	みんなが初めて知ったこと、気づいたことを聞かせて下さい！

◆所要時間　45分

◆対象学年　全学年







集めた古切手を手入れしている様子です。
　このような取り組みが、遠い国に住む人の支援につながっているんだね！









松阪社協と取り組む地域福祉教育



ボランティアセンター機能の紹介をします！

◆ボランティアセンターの紹介

松阪社協では、松阪市ボランティアセンターを併設しています。ボランティアセンターは、ボランティア団体の活動支援をしたり、ボランティアを必要としている方等へのマッチング業務を行ったりしています。



◆ボランティアセンターと地域福祉教育

地域福祉教育の一環として、授業で必要な物品等の貸出を無料で行ったり、ボランティアセンターに登録のあるボランティア団体の紹介・調整を行っています。

一部 ～貸出物品の 紹介～



イヤーディフェンダー



車椅子



アイマスク

松阪社協と取り組む地域福祉教育



松阪市内のボランティア団体と連携して、出前授業を計画します！



～ボランティア団体の紹介～

★ 松阪点訳友の会



視覚障がいの方への点字の読み書き指導や、小中学校での点字講座をしています。

点字講座では、実際に自分の名前の点字しおりを作る取り組みなどを行っています。

★ユニバーサルデザイン「夢限（むげん）」



誰もが住みやすいまちづくりを目指して活動しています。

学校、会社等からの依頼を受けユニバーサルデザインの説明や車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験学習に伺います。

★ 防災ボランティア「春告鳥（はるつげどり）」



「自分と家族の命を守るために一人一人が災害が起こる前に備えておこう」の理念で活動しています。

避難所の授業や、震災手記の朗読を取り入れた講話、「缶易（非常）トイレ」の普及など、女性の視点で活動しています。

松阪社協と取り組む地域福祉教育





～ボランティア団体の紹介～

★ 音訳グループまつさか



視覚障がいの方に様々な情報を音訳しCDなどを制作して届けています。

リクエストに応じて、子どもに「音訳」することを体験してもらいながら、その役割について伝えています。

★防災・減災飯高



飯高町内を中心として、防災・減災活動に取り組んでいます。

学校での授業は、協同学習をベースとした防災教育や、卓上型の避難所運営訓練「HUG」の実施などを行っています。

★T.P.F(おりがみグループ)，松阪折り紙ボランティア おり姫



市内の幼稚園・保育園・高齢者や障がい者施設等の利用者を対象に、日本に古くから伝わる文化として親しまれている「折り紙」を活用して交流を図っています。



松阪市内で活動しているボランティア団体については、ボランティアセンターまでお問合せください！



松阪社協と取り組む地域福祉教育



職場体験として、施設での体験学習を行っています！

◆職場体験として、思いやりの心を育む時間として…

松阪社協の５支所（松阪支所、嬉野支所，三雲支所，飯南支所，飯高支所）では、学校から依頼をいただき、施設の利用者さんと一緒に作業をしたり、施設内での体験実習を行っている事例があります。

職場体験の機会として、また、思いやりの心を育むあたたかな時間として･･･ どうぞ、お気軽にお問合せください！

※各支所によって、活動状況が異なります。

施設体験実習の様子







障がいを持つ方が就労に向けて取組む支援事業所で、生徒さんが一緒に箱折り作業をしている様子だよ！

松阪市社会福祉協議会の事業所一覧

本　所

〒515-0073
松阪市殿町1563
TEL:0598-30-5690
FAX:0598-23-3359

（本所内　ボランティアセンター）
TEL:0598-23-2941
FAX:0598-30-5692

松阪支所

〒515-0005
松阪市鎌田町213-1
TEL:0598-30-5210
FAX:0598-30-5564

嬉野支所

〒515-2323
松阪市嬉野権現前町423-9
TEL:0598-42-2718
FAX:0598-42-6481

三雲支所

〒515-2112
松阪市曽原町2678
TEL:0598-56-7247
FAX:0598-56-6837

飯南支所

〒515-1302
松阪市飯南町横野885
TEL:0598-32-4630
FAX:0598-32-4634

飯高支所

〒515-1612
松阪市飯高町富永72-1
TEL:0598-45-1125
FAX:0598-45-1139

松阪社協共通

E-mail：info@matsusakawel.com
ホームページ：http://matsusakawel.com/

